

第12回沖縄県教育委員会会議（定例会）

1 日時 平成22年09月15日 15時00分～17時22分

2 場所 教育庁第一会議室

3 出席者

委員	比嘉 委員 (委員長) 鎌田 委員 安次嶺 委員 中野 委員 新垣 委員 金武 委員 (教育長)	(欠席委員)
教育 庁	統括監等	教育指導統括監、教育管理統括監、参事
	課長及び 班長等	総務課長 財務課長 施設課長 福利課長、 県立学校教育課長 義務教育課副参事 保健体育課長 生涯学習振興課長 文化課長 全国高校総体推進課長
	職務のため 出席した者	(事務局) 総務課総務班長、総務課総務班主査 義務教育課主任
4 傍聴した者 <p style="text-align: center;">記者3人 / その他0人</p>		

平成22年第12回県教育委員会会議（定例会）

（開会15:00）

委員長	ただ今から平成22年第12回県教育委員会会議・定例会を開催します。 はじめに会期の決定を行います。本日1日を予定しておりますが、よろしいでしょうか。
各委員	はい。
委員長	このとおり決定します。 次に第9回会議録の承認を行います。中野委員お願いします。
中野委員	正確に記載されております。
委員長	正確に記載されているということですが、承認してよろしいでしょうか。
各委員	はい。
委員長	このとおり決定します。 次に第10回会議録の承認を行います。新垣委員お願いします。
新垣委員	正確に記載されております。
委員長	正確に記載されているということですが、承認してよろしいでしょうか。
各委員	はい。
委員長	このとおり決定します。 次に前回会議録の承認を行います。鎌田委員お願いします。
鎌田委員	正確に記載されております。
委員長	正確に記載されているということですが、承認してよろしいでしょうか。
各委員	はい。
委員長	このとおり決定します。 今回の会議録署名人は安次嶺委員にお願いします。
安次嶺委員	はい。承知しました。
委員長	次に教育長報告をお願いします。
教育長	（教育長報告） ・平成23年度国庫支出金（内閣府一括計上分）の概算要求の概要について ・平成22年度全国高等学校総合体育大会開催運営について
委員長	では、御質疑ございますか。
新垣委員	高校総体を終えて、感謝の意見等あったら紹介してほしい。
総体課長	現在、市町村からアンケートをとって調査中です。
安次嶺委員	1月近く続いた大会でたくさんの競技がなされ、種目によっては優勝等、いろいろ活躍したというのはわかっているが、この大会は国体のように各県別の順位点数等も出るのか。
教育長	この大会ではそういうものはございません。種目別で出るのみです。
安次嶺委員	トータルの印象でいいが、予測に比べて結果はどうか。

教育長	選手強化対策の成果が出たと思います。バレーボールやバスケットボール等のメジャーな競技では既に強豪が決まっています、そこを崩すのは難しいですが、マイナーな競技では育ててきた選手が活躍しております。レスリングでは小学校から育てた選手が決勝まで進んで涙をのみました。相撲、フェンシング、カヌーも決勝まで行きました。
保体課長	優勝した競技では、薙刀競技、ウェイトリフティング、カヌー等があります。8位入賞はこれまで36種目が最多でしたが、今回は55種目で、その1.5倍ほど上位入賞しております。これは平成16年度から、小学校4, 5, 6年生がこの年の高校生になるということで強化を始めた成果だと思います。
鎌田委員	大会中、たとえば、保育所・幼稚園で美ら島総体の記事を大きく新聞で載せていた。そういう修学前の場所でも紹介していた。それから、ホテルやタクシーの方々が、おかげでかなりお客さんがあったと、よく美ら島総体の話をしていました。本当に多様な層に関心を持ってもらった。高等学校の宣伝になっただけではなく、県民がひとつの行事に気持ちを向けることにおいて、沖縄の独自性が表れたと思った。また、選手ではない、一人一役活動の高校生達の5万2千人が、これをとおして、自分を振り返り、成長したと思う。高校3年生はこれから大学その他の進学に向かうと思うが、推薦等は、活躍した選手以外の生徒もこんなに頑張ったということ、推薦書に一筆書いてもいいのではないかと。大学にいる者として、この生徒達をそういう点でも評価していいのではないかと考えている。
中野委員	この大会を通して本当に子供達一人ひとりが、やり遂げたことに対する大きな自信、郷土に対する誇りを持てた大会になったという資料の指摘のとおりだと思ふ。また、選手でなくても一体となってやらないとできないことなんだという勉強にもなったと思う。そういう意味では大変いい経験をした大会だったと思う。また、熱中症対策、口蹄疫の問題等従来考えられないことも配慮してきめ細かい対応がなされ、大過なく終えられて非常に嬉しく、誇りに思う。そして民間のボランティアの皆さんの活躍があり、地域によっては県外の皆さんに花輪作りをして対応したという、こういう経験は貴重で、50年に1回のいい体験をとおして、今後の沖縄の発展に大きく寄与するものと思う。そういう意味で大変良かった。また、新聞社でも素晴らしい冊子を作っていた。
安次嶺委員	開会式はとても感動した。すごい雨でどうなるかと思ったが、豪雨で空手着を着た生徒達が10分ぐらい雨に打たれながらも一糸乱れず待っていた。雨があがってから、足を滑らしながらも一生懸命演技していたのが特に良かった。沖縄の踊りも美しかった。実際の競技に出ない生徒達が、何ヶ月もの間準備してきた。それを指導した先生方、支えた裏方、すべてあの集団演技に

	出ていたと思う。あの素晴らしさは、本当に沖縄の子達の、あるいは先生方のパワーを如実に示していたと思う。
鎌田委員	小中の学力の問題では厳しい評価があるが、今回の総体で高校生が頑張ってくれたおかげで、希望が持てるという声はかなりあった。
教育長	開会式では、合唱団が沖縄のアーティストのオレンジレンジの曲をアレンジして歌って沖縄のムードを出していました。空手も、雨が降ってしまいましたが、いったん退場した時に指導者が「この緊張感を切らすな。」と檄を飛ばして生徒を叱咤激励し、再度入場する際には場外の選手団が拍手を贈って盛り上がっていました。また、4校で300人のマーチングですが、アメリカでも250人がピークといわれ、この人数は他に例がありません。ダンスも子供達が自分達で演技を作って、各学校で仕上げてもた集まって作るという形で取り組みました。美咲特別支援学校の高校を入れた点も初めてで、Q A Bがその特集を1時間番組で組んでおり、11月3日2時から放映する予定です。中央だけではなく、パッと広がって、選手の皆さんを歓迎する気持ちで取り組めたのが非常に良かったと思います。また、沖縄の踊りは、南風原高校の卒業生が芸大に行って作ったオリジナル曲を使用し、衣装は海邦国体の時の衣装を保管してきたものを使用しました。踊りを仕上げるのに、子供達は朝4時に起きて着付けをして会場入りしました。こういった裏方の仕事がたくさんあり、いろんな形で支援していただき、本当に感謝しております。
鎌田委員	各種目とも素晴らしいプログラムができているが、それぞれの競技でまた、今のようなエピソード含めたまとめを予定しているか。
総体課長	年内に向けて報告書の制作に努めております。開会式、各競技の写真を基本に、参加した高校生の声も掲載していこうと考えております。
安次嶺委員	県外から参加した大勢の子供達の声も聞けたらいいと思う。良い点や悪い点もあるかもしれないが、正直な感想が記録の中にあるといいと思う。
新垣委員	これから特に高校3年生は進路について悩む時期だと思うが、これだけ頑張っただけ地道にやってきた成果、自分達でなんでもできるということを子供達に伝えて、元気づけられたらいいと思う。これも1つの「継続は力なり」の教育のたまもの。単にみんなの思いがあったからではなく、先生方が指導してきた教育の成果だと思う。この実績は大変な財産だ。そういう実績があれば、子供達がいろんなところで挫折しそうになっても自分達の力がこれだけあったという自信につながっていくと思う。いろんな分野で子供達をまた激励して今後の進路にも役立てられたらいいと思う。
中野委員	全国高校文化祭を取り上げたテレビ番組で、八重山農林高校の子供達がベスト4を目指して一生懸命頑張っている姿を追っていたが、結局はベスト4に入れず、会場の外で涙しながらも、何かやりたいと庭でやっていたら、青

	<p>森島の優勝した高校の生徒が来てここに交わり、優勝した者とがっかりした者が1つになって心の交流があった。そういう場面がこの総体でもあったらぜひ載せてほしいと思う。</p>
委員長	<p>単独県としては最後の開催。これだけの人が参加し、これだけのことができるということを実感させてくれる素晴らしい大会だったと思う。本当にお疲れ様でした。報告に関していろいろ御意見が出たが、ぜひいい形で記録として残せるようによろしくお願いします。</p> <p>国庫予算に関することで、直接的なものではないが、今日の午前、学校給食会を視察してきた。沖縄県は東西1000km南北400kmの中に39の有人離島があり、へき地、離島校が直近のデータで小中学校中35.2%もある。物資が行き渡りにくく、物流コスト、物価が高いという離島の状況、しかも、県民所得は全国平均7割、離婚率がNo.1、一人親世帯率、生活保護率、就業支援率が高い沖縄県では、学校給食が果たす役割はとても大きいと思う。その点でいい仕事をしていると実感するとともに、公益法人の見直しの中で今後の組織のあり方が1つの課題であること、24年度に離島へき地の給食の補助がなくなるということが、問題だと感じた。来年の国庫予算には直接影響ないかもしれないが、沖縄振興策の見直しや一括補助金の話もあり、離島、へき地の子供達、本島内でも給食で栄養を補っている子供達がいる中で、学校給食をどのように維持していくか課題だと思った。直接的ではないが、ぜひ検討してほしい。またみんなで予算要求等努力をしていけたらと思うので、よろしくお願いします。</p> <p>他にございますか。</p> <p>(しばし間があり)</p> <p>それでは、議事に入ります。本日の議題は議案が3件となっております。なお、第2号及び第3号は文化財の指定案件及び人事案件となっておりますので、非公開としたいと思いますが、よろしいでしょうか。</p>
各委員	はい。
委員長	それでは、議案第1号の説明をお願いします。
財務課長	<p>(議案説明)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会の権限事務に係る教育長の臨時代理の承認について（議案「平成22年度沖縄県一般会計補正予算（第2号）」に対する意見）
委員長	それでは、御質疑ございますか。
中野委員	体育施設整備事業費3千万は設計費だけか。
財務課長	はい、自主設計費です。

委員長	<p>他にございますか。</p> <p>(しばし間があり)</p> <p>では、このとおりに決定してよろしいでしょうか。</p>
各委員	はい。
委員長	<p>では、このとおりに決定します。</p> <p>この後の議案第2号、第3号は非公開案件なので、休憩に入る前に少し時間をいただいて話したい。</p> <p>前々回の会議で平成21年度の点検評価について承認した。その時にいくつかの意見、手直し等があり、それを全部終えた形で印刷があがった。点検・評価は地教行法で県議会に提出を求められている。これまでは事務局から県議会議長に渡していたが、今年は、有識者会議の中で、いかに活用するかがテーマではないかとのお話があったので、広く県民の皆さんにも教育委員会が21年度にどんな活動したのか報告をするために、明日、私と鎌田職務代理者とで議長にお渡しする。</p> <p>点検評価はPDCAにのっとっているもので、今後どのように取り組んでいくかが重要。この点検評価に基づく今後の対応は、10月から3月までの半年が残っている。今後、教育庁三役、課長とともにどのように活動していくかについて、教育委員会の活動の部分は、委員で4回ほど集まって議論をし、整理をしてまとめたので読ませてほしい。</p> <p>まず、県教育委員会の定例会会議・臨時会議・協議会・勉強会の場で委員が課題を共有し活発に議論しあえるような気風をつくる。また、人材育成に必要な教育予算確保についても議論できるようにする。そして、定例会議・臨時会議の教育長報告では児童生徒の活躍や直近の課題等の報告事項の充実をはかる。定例会議・臨時会議の議案については法律で定められた審議事項以外に重要な課題や 県民の関心が高い事項についても議論する。教育長報告・議案については1週間前にホームページやマスコミに公開し、定例会議・臨時会議の傍聴がしやすいように努める。ホームページには議事録とともに資料も添付する。各課ページで公開されている資料についてはリンクをはって検索しやすくする。各会議には三役及び必要に応じて各課長の参加を求め、委員会での議論内容を共有することを通じて、教育委員会と教育庁の連携強化をはかる。教育委員は自主勉強会や現場視察によって教育行政を学び、実態把握につとめる。</p> <p>自己点検評価に対する取り組み。年明け早々にマネジメントサイクルにのっとった点検評価の仕方について方針を決め、三役、全課課長、班長を交え</p>

た勉強会を開催する。点検評価のための組織を作ることを検討する。製作された報告書活用のため、配布方法と内容の周知のあり方を検討する。

次に、教育事情視察について。県内教育事情視察時は、教育委員会担当のみならず担当課が同行し、現場視察や意見交換で抽出された課題を記録し、概要についてはできる限りホームページ等で公開する。視察後の委員協議会で三役及び担当課同席のもと課題の共有と改善に向けて意見交換をする。視察については余裕をもった時間配分で実質的な意見交換ができるように配慮する。

意見交換会の開催について。年始めに県内各教育事務所、行事日程を確認し、県教育委員のスケジュールをできる限り落とし込む。知事との意見交換において人材育成に必要な教育予算の確保を積極的に求めるように努める。県民の教育への関心がより高まるようにピーアールの方法や内容の公開に努める。

移動教育委員会の開催について。県教育委員会の活動を公開することで課題を共有し、教育に対する理解と協力を求めるという目的を果たすことを第一義に、テーマ設定、参加対象者の選定、告知の方法を検討し、継続できる方法で開催する。開催概要や議事録要旨等をホームページを通じて県民へ公開する。

市町村教育委員会教育委員・教育長研修会の開催について。教育委員長、教育長講話は本県教育行政の重要課題や今後の方向性等踏み込んだ内容とする。

沖縄県市町村教育委員会連合会総会・研修会・懇親会への参加について。年始めに沖縄県市町村教育委員会連合会行事日程を確認し、県教育委員会が参加する行事日程を調整し、それに従った年間スケジュールの策定を目指す。

教育関係行事等への出席について。年間の教育委員会関係行事予定表から、出席する行事を委員自ら選定調整し、交替で出席する等、積極的な参加によって顔の見える教育委員会を目指す。

情報公開の推進について。教育委員の活動について委員の日常的な活動をまめに紹介できる仕組みを確立する。

この様に教育委員の活動に関する今年度の取組についてまとめた。あと半年間これにのっとなって進めていきたいと思うので、よろしくお願ひします。

先ほど美咲養護学校の取組の番組の話があったが、そのほか、この夏開催されたアジア青年の家の特番は10月9日15時から琉球放送で放映される。こちら子供達の頑張りが紹介されるのでご覧いただきたいと思ひます。

休憩します。

(以下は非公開部分のため省略します)